

新興国レポート

# 6月インドCPI（消費者物価）は高止まり

## 都市封鎖による供給不足等の影響でインドのCPIは当面高止まりか

- ▶ インドの2020年6月CPIは前年同月比+6.1%と、RBI（インド準備銀行）の物価目標（2～6%）の上限を超えて高止まり。都市封鎖による供給不足等が影響か。
- ▶ 都市封鎖期限の延長による供給不足の継続等の影響で、インドのCPIは当面高止まりが続くものと思われる。RBIは8月4～6日の金融政策委員会で追加利下げを見送るものと予想する。

### (1) 2020年6月CPIは高止まり

- インド統計局が発表<sup>(注)</sup>した2020年6月のCPIは前年同月比+6.1%と、前月から0.2%低下したものの、RBIの物価目標（2～6%）の上限を超え、高止まりしています。変動の大きい食料品・飲料・燃料を除いたコアCPIは同+5.1%と、前月から0.1%上昇し、2019年11月の同+3.5%を直近ボトムに上昇傾向が続いています（図表1）。新型コロナウイルスの感染拡大を受けた都市封鎖によって生産が滞り、日用品等の供給不足が続いていることが主な要因と見られます。尚、CPI構成要素の約4割を占める食料品価格は、昨年夏場の天候不順で高騰していた野菜価格の落ち着き等の影響で、低下傾向となっています（図表2）。

### (2) 物価見通し

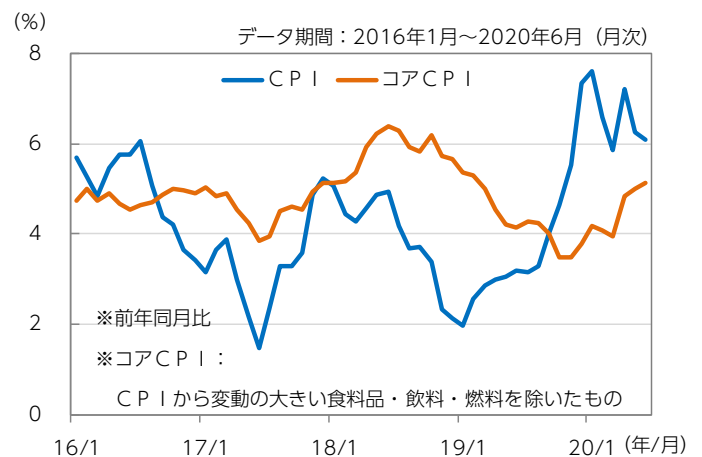
- インド政府は6月8日、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために実施している都市封鎖の段階的な解除を始めました。しかし、その後も感染者数の増加が続いていることもあり、6月29日には同月末までとしていた都市封鎖の期限を感染者の多い地域を対象に、7月末まで延長すると発表しました。インドでは7月に入っても感染者数の増加が続いており（7月14日時点）（図表3）、都市封鎖対象地域が広がる可能性も出始めています。
- インドのCPIは、都市封鎖の延長による供給不足や国内消費の約8割を輸入に頼る原油価格の上昇等を背景に、当面高止まりするものと思われます。モンスーン期（6～9月頃）の降雨量によっては、野菜価格が急騰し、物価を押し上げることも想定されます。

### (3) 金融政策見通し

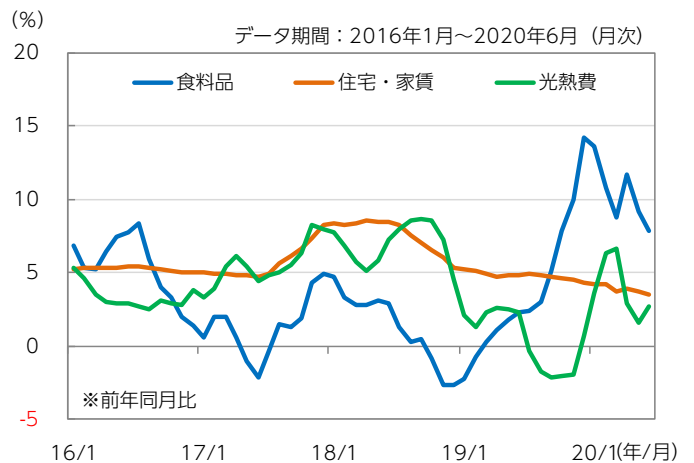
- 物価の高止まりや都市封鎖の段階的解除を受けた経済動向の見極めのため、RBIは8月4～6日の金融政策委員会で追加利下げを見送るものと思われます。尚、都市封鎖対象地域の拡大等で、経済活動再開の動きが停滞する可能性が強まる場合には、追加利下げに踏み切ることも考えられます。

(注) 都市封鎖により完全なデータが揃わなかったことから部分的な公表にとどめられていた4月と5月の全体統計も同時に発表されています  
出所) 図表1～3はCEIC、ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

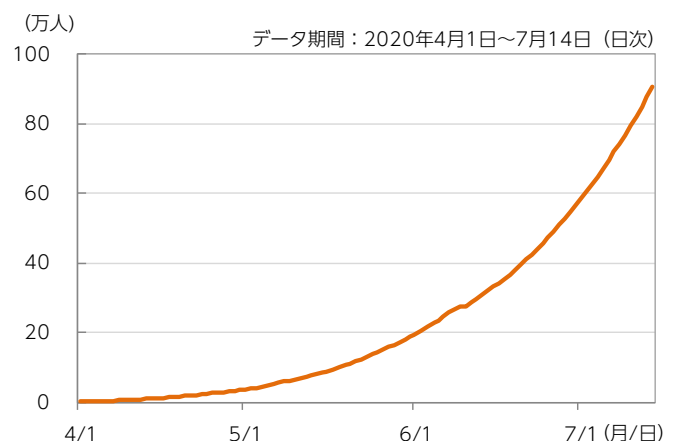
図表1：CPIとコアCPIの推移



図表2：CPIの主な構成要素の価格変動



図表3：インドの新型コロナウイルス感染者数



## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>